

# 個別施設計画【概要版】

類型：漁港

## 1 対象施設

京都府が管理している2漁港にある施設

- ① 舞鶴漁港：34施設
- ② 中浜漁港：25施設

## 2 計画期間

8箇年（平成27年度～令和4年度）

## 3 対策の優先順位の考え方

以下のとおり「点検→施設台帳→優先順位づけ・修繕等の対策」のメンテナンスサイクルを確立することにより施設の長寿命化を図る。

### 【点検】

日常的な点検の他に、施設所管課が自ら行う「自主点検」を実施することで、施設の劣化や異常等を早期に発見する可能性を高める。

### 【施設台帳】

点検結果及び修繕履歴等を個別施設ごとにデータの蓄積を行うことで、効率的な整備を行う。

### 【優先順位づけ・修繕等の対策】

健全度とその影響度から対策の必要性を総合的に判断して優先順位付けをして予防保全型の修繕・改修等を実施する。

## 4 個別施設の状態等

別表のとおり

## 5 対策内容と実施時期

長寿命化を図るため国のガイドラインに基づき、修繕・改修等を実施する。

## 6 対策費用

約1.5億円／年（平成29年度～令和元年度の修繕費の平均）

## 【別表】

※ 点検に基づく建物の部位ごとの劣化度と影響度から算出した施設全体の劣化度を表す指標（健全度：D<C<B<A）

分類	所管部局	施設名称	施設延長・面積	建築又は取得の年	構造・階数	健全度 ※
舞鶴漁港	水産事務所	二尾防波堤	230m	昭和57～59年	鋼管 組杭式	B
		導流堤	150m	昭和51～52年	さん橋式 鋼管	B
		第1埠頭1号岸壁	54.2m	不明	重力式	D
		第1埠頭2号岸壁	64m	不明	矢板式	C
		漁港埠頭西新岸壁	130m	平成4～5年	矢板式)	B
		漁港埠頭西岸壁	156.1m	平成4～5年	鋼矢板	B
		漁連前岸壁	79m	昭和60年	鋼管棧橋式	D
		新漁港岸壁	185.6m	昭和45～48年	平行式 鋼矢板	A
		漁港埠頭東岸壁	186.1m	平成6～13年	矢板式	B
		吉原岸壁	100m	昭和51年	平行式 鋼管	C
		伊佐津川右岸岸壁	230.5m	昭和62～63年	矢板式	B
		導流堤横岸壁	100m	平成7～9年	鋼管棧橋式	D
		吉原北岸壁	37m	昭和62年	鋼管棧橋式	B
		二尾第2岸壁	135m	昭和55～56年	矢板式	B
		伊佐津川左岸物揚場	159.9m	昭和63～平成6年	矢板式	C
		伊佐津川左岸物揚場	140m	昭和63～平成元年	矢板式	C
		伊佐津川左岸物揚場	14.2m	不明	石積式	C
		伊佐津川右岸物揚場	150m	平成2年	矢板式	B
		伊佐津川右岸物揚場	105m	平成3年	矢板式	C
		伊佐津川右岸物揚場	38.5m	不明	石積式	C
		吉原東物揚場	105.6m	平成3年	矢板式	C
		二尾さん橋	21.7m	不明	石造突堤式	C
		二尾船揚場	86m	昭和44年	コンクリート	C
		第1臨港道路	291m	不明	アスファルト	D
		第2臨港道路	153m	昭和60年	アスファルト	D
		第3臨港道路	120m	不明	アスファルト	D
		第4臨港道路	329m	平成6年	アスファルト	D
		第7臨港道路	285m	不明	アスファルト	D
		二尾臨港道路	237m	昭和51年	アスファルト	D
		二尾第2臨港道路	24m	昭和49年	アスファルト	D
		伊佐津川泊地	74622㎡	昭和50年	泊地	A
		南泊地	18713㎡	平成3年	泊地	D
		二尾泊地	47040㎡	昭和58年	泊地	D
吉原泊地	3140㎡	平成元年	泊地	D		

※ 点検に基づく建物の部位ごとの劣化度と影響度から算出した施設全体の劣化度を表す指標（健全度：D<C<B<A）

分類	所管部局	施設名称	施設延長・面積	建築又は取得の年	構造・階数	健全度 ※
中 浜 漁 港	水産事務所	沖防波堤	449.6m	昭和35～62年	コンクリート単塊式、ブロック積式 ケソン式（消波工あり）	B
		中防波堤	45.1m	昭和26以前～平成9年	ブロック積式（消波工あり）	D
		東防波堤	125m	昭和47～57年	ブロック積式（消波工あり）	B
		内防波堤	38.6m	昭和48～51年	コンクリート単塊式 （消波工あり）	D
		第2沖防波堤	53.5m	昭和52～57年	コンクリート単塊式	D
		久借防波堤	45m	昭和53～平成9年	コンクリート単塊式	D
		沖第2防波堤	130m	平成元～26年	ケソン式（消波工あり）	C
		防砂堤	185m	昭和59年	ブロック積式、コンクリート単塊式	B
		大呂護岸	50m	平成2～4年	コンクリート単塊式 （消波工あり）	D
		中岸壁	100m	昭和50年	コンクリート単塊式	D
		東岸壁	135.3m	昭和54年	コンクリート単塊式	C
		西岸壁	70m	平成4年	L型ブロック式	D
		西物揚場	109.7m	昭和26以前～昭和49年	コンクリート単塊式	D
		中物揚場	47.6m	昭和29～50年	コンクリート単塊式	D
		東船揚場	131.5m	昭和54年	コンクリート斜路式	B
		西第2船揚場	40m	平成3年	コンクリート斜路式	D
		中浜臨港道路	258m	昭和37～平成11年	アスファルト舗装	D
		道路	47m	平成11年	アスファルト舗装	D
		西岸壁背後地道路	119m	平成4年	アスファルト舗装	D
		第2臨港道路	276.2m	昭和55年	アスファルト舗装	D
		第1泊地	6061㎡	昭和26年以前	泊地	D
		第2泊地	5529㎡	昭和54年	泊地	A
		第3泊地	14300㎡	平成7年	泊地	A
中浜航路	410㎡	昭和57年	航路	A		
中浜航路	72㎡	昭和58年	航路	A		